

2019年12月12日

各位

会社名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問合せ先 取締役管理担当 吉村 圭司
(TEL 03-5472-1578)

がんのウイルス療法「テロメライシン（OBP-301）」のライセンス契約に係わる マイルストーン達成に関するお知らせ（開示事項の経過報告）

オンコリスバイオフーマ株式会社（以下、「オンコリス」）と中外製薬株式会社（以下、「中外製薬」）は、がんのウイルス療法「テロメライシン（OBP-301）」（以下、「テロメライシン」）に関して、2019年4月8日にライセンス契約（以下、「本契約」）を締結しています。現在進行中の臨床試験において事前に設定した基準を満たし、本契約に係わるマイルストーンを達成しました旨、オンコリスは中外製薬から通知を受けましたので、お知らせします。

今回の達成に伴いオンコリスは中外製薬から、本契約に基づき第1回マイルストーンとして5億円を中外製薬より受領します。両社は引き続き協力して本品目の開発を実施してまいります。

経営者コメント

オンコリスバイオフーマ株式会社 代表取締役社長 浦田 泰生

「テロメライシンの開発が確実に進展しており、今回、第1回目のマイルストーンが達成できたことを大変嬉しく思います。今後も、中外製薬と共にテロメライシンの臨床展開を拡大していきたいと思っております。日本オリジナルのウイルス療法テロメライシンが、早く臨床現場で活用されることを期待しています。」

本件により2019年12月期のオンコリス売上高に、第1回マイルストーン金額である5億円が計上されます。

なお、2019年11月1日に開示しました2019年12月期第3四半期決算短信に記載のとおり、オンコリスは現時点では業績に与える未確定な要素が多いことから、2019年12月期の業績予想は適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、予想の公表をしておりません。

オンコリスバイオフィーマについて

オンコリスバイオフィーマは、ウイルス遺伝子改変技術を活用した新規がん治療薬、新規がん検査薬の開発を行い、がんや重症感染症領域の医療ニーズ充足に貢献することを目指しています。特にがん領域では、腫瘍溶解ウイルスのプラットフォームをベースに、がんのウイルス療法テロメライシンとその次世代版の開発を進めると共に、がんの早期発見または術後検査を行う新しい検査薬のテロメスキャン等を揃えることで、がんの早期発見・初期のがん局所治療・術後検査・転移がん治療を網羅するパイプラインを構築しています。詳細は www.oncolys.com をご覧ください。

テロメライシンについて

テロメライシンは、がん細胞で特異的に増殖し、がん細胞を破壊することができるように遺伝子改変した5型のアデノウイルスです。5型のアデノウイルスは風邪の症状を引き起こすもので、自然界にも存在します。テロメライシンは、がん細胞で特異的に増殖することでがん細胞を溶解させる強い抗腫瘍活性を示すことや、正常な細胞の中では増殖能力が低いために、臨床的な安全性を保つことが期待されています。現在まで、嘔吐・脱毛・造血器障害等の重篤な副作用は報告されていないことから患者さんのQOL（Quality of Life）の向上が期待されます。更に近年の研究により、ウイルス療法によって破壊されたがん細胞は、その特異的な抗原のシグナルを樹状細胞等の免疫細胞に直接伝えることにより、がん免疫を誘導できることが示唆され、近年その有効性が注目されている抗PD-1抗体等の免疫チェックポイント阻害剤との併用により、全身的な抗がん作用が期待されています。

以上

本件に関するお問い合わせ先

オンコリスバイオフィーマ株式会社 財務部

Tel: 03-5472-1578

E-mail : oncolys_information@oncolys.com